

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

C1 ならこの里 掛川市居尻190

桜・紅葉・森林浴・キャンプ・バーベキュー

掛川市街から北に約15km（自家用車で約30分、バス（駅北口5番乗り場）は1時間に1本程度）の、自然の中にある。北門交差点より西郷県道を北に一本道。途中から道が細くなるが、構わず進む。



「～するならここ」から「ならここ」と名付けられた。日帰りに良し、宿泊に良し。

春は桜が美しい（駐車場混雑）。秋は紅葉が美しい。冬は木の実ひろいが出来る。

夏は、キャンプ及びバンガローでの宿泊を楽しめる。鮎の掴み取りもある。

バーベキュー設備が完備している（大人1200円 小人800円）。

年間を通して、コテージは人気（半年前から予約が必要なほど）。

園内の日帰り温泉 C2「ならこの湯」は、来客が絶えない（大人500円）。

園内への食べ物の持ち込みは自由。C2「ならこの湯」内の食事処以外には近所には食事出来る店はなく、自家用車なら帰路に C7「法寿庵」に寄ることを勧める。



日曜日と5月の連休と夏休みに開館する森林科学館「回帰館」では、木を使って自分の好きな「かたち」を工夫して作品を作る。

土日の午前9時～午後3時、野菜・総菜・果物などの朝市がある。

短いが少し揺れる吊り橋がある（大周りになるが自動車用道路を迂回可能）。

駐車場：有（100台以上）無料

トイレ：有（多数）

営業時間：午前9時～午後4時（受付）

11～3月の第1・3火曜日は休み

入場料：150円（キャンプ場）

子供：可

土産：木製品・地元の野菜・他（受付）

同伴：家族連れ向き

問合せ：0537-25-2055

公式サイト：<http://www.narakoko.co.jp/>



キャンプ泊3100円から。キャンピングカーも可。バンガロー（27棟）泊4500円から（マットレスと毛布の貸し出しあり、電源なし）。コテージ（5棟）泊20000円から（寝具・トイレ・風呂・台所・鍋・炊飯器・ポット・エアコン・ファンヒーターあり）。

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

C2 ならここの湯

掛川市居尻 179



森の音、川のせせらぎ、風の色など、山間の豊かな自然を肌を感じながら源泉 100%の温泉が楽しめる「ならここの湯」。
ふんだんに木材が使用され木の温もりが感じられるやすらぎの湯です。また一度入ると肌はつるつる



になり、価格の安さとともに常連客でいつも賑わっています。子供（3歳以下）は18時以降からでないとい入浴できませんので、注意が必要です。（大人500円、子供300円）

また、昼は入り口横にある売店で地元のお婆あちゃんが農作物や手製の金山時みそやおはたき、パンを格安で売っています。おいしい作り方のコツも伝授してくれています。

森の都ならここの温泉館 TEL：0537-20-3030

C3 柴ちゃんちのジャージー牛乳

掛川市大和田 25 0537-25-2017

新鮮な牛乳やプリン、ヨーグルト、ソフトクリーム、スチックショー、チーズケーキなど多数販売しています。こくのある乳の味わいを色々な形や味で満喫できます。プリンはカスタードプリン、牛乳プリン、なめらかプリンと多種ありますが、中でも「そばプリン」という他では味わえないものもあります。さっぱりしていておいしいです。是非、ご賞味あれ！（土・日・祝日しか営業しておりません。）



C4 法泉寺温泉 掛川市上西郷 5076

永享12年(1440年)に法泉寺温泉を開山した春屋宗能代和尚が夢の教えにしたがったところ、こんこんと沸き出でたと伝えられています。

泉質は単純硫黄泉で、神経痛、胃腸病などに効果があります。

(滝本館：0537-29-1126、小杉館：0537-28-0547)

C5 倉真温泉 掛川市倉真



清流にはアユやヤマメが泳ぎ回り、近くには松葉の滝や百観音などの見どころも多くあります。泉質は単純硫黄泉で、神経痛やリュウマチに効くほか、肌が美しくなる美人の湯として人気です。

(松永荘、真砂館：0537-28-0111、翠月、落合荘：0537-28-0331)

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

C6 倉真赤石温泉

掛川市倉真赤石 5986 0537-28-1126



掛川市街から倉真温泉方面へ、途中から赤文字で「倉真赤石温泉」の看板が……。看板通り進むと山道の急坂へ、本当にこんなところに温泉があるのかと半信半疑で、また細い道を注意しながら約5分程車を進めると急斜面にへばりつくように倉真赤石温泉があります。見た目はこの写真の通り、これが温泉？と疑ってしまいます。

この温泉は、おじさんが一人で食事を作ったり、薪を割ったりして、運営しています。肝心の温泉ですが、湯舟は小さく、大人3人がやっとという広さですが、単純硫黄冷鉱泉の源泉が常時溢れており、体も心も温まります。また、皆さんは「湯の華」を見たことがありますでしょうか？ここにすれば、いつでも見ることができる本物の温泉があります。

（大人 1050 円、子供 525 円）

また、小さいながらも休憩室が完備されています。そして、おじさんの作ってくれる料理も本物です。寒い冬には「ししなべ定食」（写真 800 円）はいかがでしょう？（山にイノシシを取りに行ったのでは？と感じるぐらいゆったりとしていますので、腹ペコの人は他のメニューがいいかもしれません。）



その他にもうどん、そば、串焼き、豚もつ、たこ焼き、タマゴ井などもあります。温泉通の方には、秘境として知られているそうです。

（営業時間 午前 10 時～午後 8 時まで、元日も営業しているそうです。）



湯の華はさすがに写真に写りませんでした。



秋は、紅葉がきれいです。

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

食事処（料亭）・仕出し料理

C7 法寿庵（ほうじゅあん）

掛川市上西郷5434-1

立地は田舎（山里）だが、本格的な料亭である。

五百年の歴史を持つ寺（法泉寺の末寺）を改装したもの（ご本尊はない）である。法泉寺の住職が東京から招聘した料亭であり、法事などの仕出しがメインであるが、手頃な価格のランチもあるし、大小宴会なども可能である。



掛川市街から北に約7km。

場所は、少々、分かりにくい。

北門交差点から西郷県道を真っ直ぐに約5km北上し、道が狭くなって間もなく、左の写真の法寿庵の看板のところを右折して数百m。

C1「ならこの里」への行程の途中で寄るには、便利な場所である。（但し、夜は予約が必要なので注意）



ランチタイムは11時半～14時。



上の写真は1575円の「特別ランチ」（左が「ミックスフライ」、右が「天ぷら盛り合わせ」、他にも数種がある）で、写真の他にコーヒーが付く。



左に示すのは1600円の「ちらし寿司ランチ」（未試食）。1800円の「中とろ鉄火丼」もある。

日本そば・うどん・喫茶（日本茶）もある。

夜は予約のみ（21時まで）。

仕出しは、法事料理が3675円より、会食料理が2625円より、オードブルが2000円より。

駐車場：有（約20台）無料

子供：可

同伴：家族連れ・カップル・宴会

問合せ：0537-29-1819

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

C8 五明の茶畑、星の見える丘

掛川市五明



掛川駅から県道39号線で北へ。石畑の信号を左へ曲がって五明の丘を登る。駅から7キロ、車で15分。細いなだらかな道を登り切ると、眼前に一面の五明の茶畑を見下ろすことができる。

晴れた夜は手が届きそうな満天の星！宝石を散りばめたようだ。ここで彗星も発見された。「中村、西村、マックホルツ彗星」と記された碑もある。広い輝く星空を眺めていると、自分の星を発見できそうな気がする。



（路上駐車、夜は真っ暗なので、昼間に一度下見することをおすすめします。）

C9 ねむの木村 桜木池

掛川市上垂木あかしあ通り一丁目1番地



県道39号線石畑の信号に、ねむの木村の標識が出ている。「ねむの木村」案内板から右に入って1キロ。掛川駅から20分。

桜木池には、冬になるとオシドリの群れが飛来する。また、冬の晴れた日は、白鳥が気持ちよさそうに昼寝をしている。「森の喫茶店」でコーヒーを飲みながらのんびり時を忘れるのもいい。

日本の野鳥555種類の内ここには107種類の野鳥が生息する。

春は桜の名所で、季節には沢山の市民が訪れる。また、ねむの木学園が見えてくるあたりに道をカーブすると、突然目の前の山一面に息をのむような見事な桜が迎えてくれる。

0537-26-3900 駐車場有り



歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

C10 吉行淳之介文学館 掛川市上垂木 0537-26-3923



ねむの木学園の創始者である宮城まり子さんと交遊関係のあった文学者 吉行淳之介の蔵書や吉行さんから宮城さんに宛てたラブレター等を展示しています。

入場料：大人 600 円、子供 250 円

(ねむの木村こども美術館とのセット入場券 大人 1000 円、子供 400 円有り)

入館時間：10:00-17:00 駐車場有り



C11 ねむの木こども美術館 どんぐり

掛川市上垂木 2 9 7 9-1 0537-26-3988



ねむの木学園近くに作られた、ねむの木こども美術館「どんぐり」は、ねむの木学園に通う子供達の絵を展示している。ねむの木学園とは 1968 年、日本で初めての肢体不自由児のための養護施設として設立された。この変わった形の美術館は、藤森照信さんが設計しており、浜松市浜北区にある秋野不矩美術館と似たおもむきになっている。名前の通り、どこか「どんぐり」に似ているような気がします。

また、美術館の 2 階から外に出て、自然と触れ合うことができる構造になっており、時間があつという間に過ぎてしまいます。

美術館の中には、子供たちの感性と 1 つ 1 つ細かなところまでしっかりと描かれた絵でいっぱいです。気に入った絵は、絵はがき (1 枚 100 円) で購入できます。また、更に 700m 先に「緑の中」というねむの木こども美術館もあります。こちらもぜひ！

入場料：大人 600 円、子供 250 円

入館時間：10:00-17:00 駐車場有り



歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

フェアトレードの雑貨・喫茶

C12 ヴィレッジ 掛川市下垂木303-1

元はお寺。アジアやアフリカの雑貨や茶葉やコーヒー豆等を販売しているが、所謂フェアトレード商品が主であることが特徴。国内作家の作品も扱う。

喫茶は、各国のコーヒー（300円）や紅茶（300円）やココア（400円）だけでなく、チャイ（400円）や各種ハーブティー（300円）も人気。独特の寛げる雰囲気の中で読書しながら飲むもよし。

以前は毎月第4日曜日にフリーマーケットが開催されていたが、駐車場を借りられなくなって、休止中。中（旧大東町、昔の中村）のガランセがカレー屋を出店していた。



フェアトレードとは、発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動のこと。そのため、有名ブランドではないが良質な製品が並ぶ。オーガニック製法の商品が多い。



掛川市街から。北西に約4km。

国道1号線の北門交差点から西郷県道を北上1.6km。



上西郷交差点（左の写真）を左折。

400m西進して、突き当りを右折。

道なりに1.5km進むと、右側に店（右の写真）がある。一見、店に見えぬが、右端の写真の小さな看板が目印である。



定休日：不定休 営業時間：午前11時～午後6時

駐車場：有（約15台）無料（表4台、裏約10台）

同伴：一人ぶらり・カップルで・友達と 問合せ：0537-22-3799

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

動物園（鳥と魚のみ）・植物園

C13 掛川花鳥園 掛川市南西郷1517

大温室を有し、一年じゅう、多数の鳥と植物が、展示されている。鳥は、基本的に檻に入っておらず、自由に触れ合えるものも多い。入場料は少々高いが、一度は行ってみる価値はある。



掛川駅南口から南に約800m。途中500m辺りから道が狭くなるが、構わず進み、東名高速道路を狭いトンネルでくぐり、更に一本道を進めば良い。

入口を入ったところはまだ温室ではなく、ペンギンやカモや黒鳥などが居る。



温室に入ると、400席のレストラン・休憩所であり、天井一面から花が吊り下げられている。

食事は、バイキング形式で、土日祝日・年始・GW・お盆期間は大人1500円・小人800円、平日は大人1000円・小人600円。染飯（そめい）などの御飯の種類が多いのが特徴、スイーツも充実。

レストランの右手に、蓮池を中心として数区画に区切られた大温室があり、多数の鳥が放し飼いされている。（少数、繋がれたり檻に入った鳥も居る）



区画の区切りは目立たぬ金網であり、隣の区画に行くには、同居不能の鳥が混ざらぬよう、二重ドアの通路を通る。



50～100円で鳥や魚の餌が売られており、餌をやると鳥や魚が寄ってくる。

レストランの左の屋外では、日に3回（10時半と13時と15時から）鷹匠ショーが行なわれる。（温室内で



はないので、寒い季節には防寒着を忘れずに）

営業時間：午前9時～午後5時

駐車場：有（乗用車400台、バス20台）無料

入場料：大人1050円・小人525円・幼児無料

（誕生月無料、高齢者や障害者は2割引、ツイッター割引あり）

トイレ：有

同伴：家族連れ・カップル・知人を案内

土産：掛川物産品等

問合せ：0537-62-6363

公式サイト：<http://www.kamoltd.co.jp/kke/>

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

神社（梅、紫陽花）

C14 龍尾神社

掛川市下西郷84

古来より掛川城主の崇敬をあつめてきた神社。花庭園では、早春にはしだれ梅（入園料500円）を、梅雨には紫陽花（入園料300円）を楽しめる。ドラえもんが出迎えて呉れる。



場所は少し分りにくいですが、近づけば標識がある。国道一号線の北門交差点より西郷街道を北上500m、左手前にENEOSのある交差点を右折して東進100m、2番目の交差点を左折して北上50m、最初の交差点を右折して東進200m。

駐車場：有（60台）無料 問合せ：0537-23-0228

公式サイト：http://www.geocities.jp/tatsuo_jinja/

食事処（インド風カレー）

C15 ビニータ (Vineeta) 掛川市上張865-3



本格インド風カレーの専門店であり、昼食ときにはかなり混み合う。大きなナンが焼きたて。

掛川市街から南に約2km。掛川駅南口から1.2km（徒歩15分）。塩町南交差点（掛川駅北口から東に300m）のすぐ南の通称「上張のガード」から南に1.0km、上張南交差点を過ぎて数十m、右手にある（上張南交差点には交差点名

の看板が無い）。東名高速道路掛川ICからは、右（西）に出て200m、最初の信号を左折して数十m、右手。

ランチタイムは、平日は11時半～14時（オーダーストップ13時半）、土日祝は11時半～15時（オーダーストップ14時）。

Aランチ（写真）1050円：カレー（25種中の1種）、ナンまたはライス、ドリンク。

Bランチ1380円：Aランチにタンドリーチキンと自家製ヨーグルトが加わる。

スペシャルランチ1580円：Bランチにシークカバブ（シシカバブ）とカチュンバー（インド風さっぱりサラダ）が加わる。

カレー25種中のいちばん人気はバターチキンの由。ドリンクにはラッシーもある（上のAランチの写真）。

ディナータイムは17時半～21時半（オーダーストップ20時45分）。

駐車場：有（約20台）無料

問合せ：0537-21-3718

定休日：毎週月曜日および月2回火曜日（祝日のときは翌日）

同伴：一人ぶらり・家族連れ・カップル・知人と



歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

C16 高天神城址 掛川市上土方・下土方

小規模ながら、山城として堅固さを誇り、戦国時代末期には武田信玄・勝頼と徳川家康が激しい争奪戦を繰り広げました。標高 132m の鶴翁山を中心に、放射状にのびるいくつかの尾根を巧みに使った山城です。天然の堀を形成していて、守るに守りやすく、攻めるに攻めにくい構造となっていたので、「難攻不落の名城」として知られています。また、優美



な山の形から鶴舞城の別称を持ち、国の史跡に指定されています。横須賀城とも関係が深く、歴史を勉強してから城跡を訪れると、戦国時代の知恵を現地で垣間見ることができそうです。城の中をめぐるハイキングを楽しんでみたらいかがでしょうか？

高天神城址から見た大東地区。

駐車場：有り トイレ：有り 同伴：家族、友人、歴史愛好家

問い合わせ：掛川市役所商工観光課 0537-21-1149

高天神城観光ボランティアガイド受付（要予約）：大東観光協会 0537-72-2701

C17 源氏ホタルの池 掛川市大坂

夏が近づく 6 月中旬に源氏ホタルが華麗に舞う風景を楽しむことができる場所があります。その名も「源氏ホタルの池」。大東地区では夏の名所となっています。車を止める場所がないので、シオーネの駐車場に車をおいて、南に歩くこと約 5 分で到着です。キラッと光るホタルの輝きを目指しましょう。



ホタルを勉強できますので、懐中電灯持参。

意外と大きな池です。夜は気をつけて下さい。

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

菜の花・桜・向日葵・コスモス

C18 シオーネ脇の花畑 掛川市大坂 7373

掛川市街から県道掛川大東線（県道38号線）を南下すること約1.5km（自家用車で約25分、駅北口3番乗り場より大東営業所行・浜岡営業所行のバスにて約30分で釜田入口下車徒歩10分）、旧大東町にある、掛川市文化



る、掛川市文化

会館シオーネ及び大東図書館の、西隣りに広がる。

春は菜の花と桜を、夏は向日葵を、秋はコスモスを楽しめる。尚、花は、自由に引き抜いて持ち帰って良いそうだ。

「シオーネ」は“遠州灘の塩の音”から名付けられ、シオーネと図書館の屋根も「打ち寄せる波の形」となっている。近隣に食事処はない。

駐車場：有（約210台：シオーネ及び大東図書館）

トイレ：シオーネ内に有

（月曜・第4火曜・年末年始は閉館）

営業時間：午前9時～午後5時（シオーネ）

問合せ：0537-72-1234（シオーネ）



http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/bunka/b_sisetu/sione.html（シオーネ）

C19 八坂神社（掛川市中）

県道掛川大東線（県道38号）を7km下り小貫交差点に至る。直進して県道247号を2.5km進んでY字路を右にとる。2つ目の信号を左折しすぐの所。右折した反対側にはトッパムーアの工場がある。

不思議なことに社殿が2つ並んでいるが、向かって左が「八幡宮」右が「八坂神社」である。木立の中の静かな雰囲気と社殿の古さが見所。「八坂神社」の「祇園祭」は、祭りとお囃子が県無形民俗文化財に指定されている。祭りは、毎年10月第1土曜、日曜日に行われ、中交差点近くの「満勝寺」付近が見物によい。一本柱万度型屋台、神輿などが見所である。



駐車場：無（路肩駐車可） 入場料：— トイレ：無 同伴：家族、歴史好きの人と

食 事：八坂神社の信号を南に直進し突き当たりを右折、1.5km進んで中の4叉路信号の手前右に「うなぎの熊切」TEL0537-74-2746、信号を直進しすぐ右に「満泉亭」TEL0537-74-2635 がある。

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

寺院（紫陽花などの花）

C20 本勝寺

掛川市川久保 8

紫陽花などの花が沢山ある寺（通称「あじさい寺」）であり、植物（ナギとイヌマキ）で出来た山門が出迎えてくれる。6月だけ食事処「地藏庵」（蕎麦と甘味）も開く。

掛川市文化会館シオーネの交差点から東に 250m、狭い道を北上 300m。

駐車場：有・無料 問合せ：0537-74-2050



寺院

C21 満勝寺

掛川市中 3 5 2 9

中（昔の中村）にある、由緒ある寺。

夏の土用の第一丑の日の午前中（7時～正午）に「ほうろく灸」が行なわれる。頭痛に効くという。また、これを受けると夏を乗り切れるとも言われている。

大東町中交差点より南西に 100m、右側。

駐車場：有・無料 問合せ：0537-74-2646



C22 貞永寺

掛川市大坂 3 7 0 6 - 1 0537-72-2504

寺蔵の古文書によると、貞永二年(1233年)、四条天皇の綸命によって、貞永寺の創建されたことが記されている。その後約一世紀を経て、後醍醐天皇が鎌倉幕府討伐を企てた元弘の乱(1331年)の頃に寺勢は零落していたらしい。現在は、平成十五年二月から十六年十二月にかけて全解体修理が施され、春になると桜の名所として地元の人たちに愛されている。 駐車場・トイレ有り 拝観料：無料



修復された本堂。



旧本堂にあった屋根瓦。



本堂内部には朱塗りの駕籠が保管されています。

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

C23 大浜公園 掛川市大坂

大浜公園は、県立自然公園に指定されています。桜の名所で貞永寺より山頂に続く桜のトンネルは圧巻です。公園頂上の展望台からの眺望は、天気の良い日は、南に遠州灘、北には南アルプス連峰、富士山が一望でき、雄大な景色を楽しめる絶景スポットです。公園内は、整備された遊歩道があり、つつじや山ゆり等が群生しており、園内を一巡するハイキングも楽しめ、家族向きなスポットです。

問い合わせ：掛川市役所 商工労働観光課 観光振興係電話：0537-21-1149

掛川市サイト：<http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/kanko/south/ohamakouen.html>

駐車場・トイレ有り 無料



公園の展望台。



展望台より遠州灘を一望。

C24 大東温泉シートピア 掛川市国安2808-2 0537-72-1126

掛川市の最南端である遠州海岸沿いに天然温泉を利用した日帰り温泉スポット「大東温泉シオーネ」があります。和風・洋風・プールゾーンの3つのタイプに分かれ、9種12ヶ所の温泉があり、大人500円、子供250円で入館できます。洋風ゾーンの天然ハーブ湯は疲労回復・リラクゼーションに効果があり、地中海のような造りでリゾート気分が楽しめます。また、うたたね処(仮眠室)では日頃の疲れた体もリフレッシュできます。泉質は美肌効果としても有名な、ナトリウム一塩化物温泉です。また、館内には物産館もあり、地元特産物の販売も行っています。

営業時間 10:00～21:00

家族室・・・1室3時間まで 1,900円(延長1時間ごと 500円)

館内着・150円 バスタオル・150円

館内着・バスタオルセット・200円 フェースタオル(販売)200円

休館日 毎週火曜日(この日が祝祭日の場合は営業)

駐車場 無料(201台収容)

公式サイト：<http://www2.odn.ne.jp/~aat89440/>

歴史街道と掛川（東海道と塩の道が交わるまち）

「ちょっと一休み」

「市章」

掛川市の市章は、頭文字の「K」と市の花である「キキョウ」をモチーフにしています。
平成17年の合併時に一般公募で決定しています。



尚、市章の使用には、申請書が必要です。

「花」

「桔梗」：掛川藩藩主であった太田氏の家紋が由来です。

「木」

「金木犀」：10月になると一斉に花が咲き、いい香りの中で秋祭りが行われます。

「鳥」

「鶯」：うぐいすの泣き声が聞こえ出すと春の訪れを感じます。